



# The TKF TIMES

高崎経済大学附属高校新聞部 平成27年9月29日(火)発行 9月号

## 魅せた 高校生活の集大成 3年オナー 成果発表会

9月4日(金)に3年理系オナー、9月12日(土)に3年文系オナーの成果発表会が行われ、本年度に行つたオナー活動について発表した。

### 3年理系オナー

3年理系オナークラスの成果発表会は9月4日(金)の放課後に本校視聴覚室で行われた。当クラスの生徒たちは、本年度に行つたオナー活動である「早稲田大学見学」と「東日本大震災被災地の視察」について5



▲被災地の現状を伝える

した班は学内の風景や授業の様子、そして早稲田大学と東京女子医科大学の連携教育施設であるTWINSなどについて説明した。

一方、他の4つの班は被災地について発表した。実際に視察した石巻市や女川市、富岡町、そしてアクアマリンふくしまの震災時の被害や現状について発表し、津波被害や放射能問題など今なお残る震災の傷跡を説明した。また、生徒たちは実際に体験した出来事を写真や図を使用しながら発表し

### 3年文系オナー

3年文系オナークラスの成果発表は9月12日(土)に高崎経済大学7号館4階で行われた。発表の内容は3年文系オナーが高崎経済大学との「高大コラボゼミ」で進めてきた研究テーマで



▲発表概要を英語で説明する

ある「日本企業の海外戦略」に関するもので、全6グループが各自調査した企業について発表し、本年度研究した協力企業は三井物産・トヨタ自動車・三菱重工・日本水産・東燃ゼネラル石油・資生堂と、例年と同様に世界的に有名な企業が名を連ねた。

発表はまず1年間共に活動してきた大学生が企業の概要説明を行い、その後経附生による英語での概要説明、そして本題のプレゼンテーション、質疑応答という流れで進行した。プレゼンテーションでは生徒たちが今までに行ってきた企業見学、大学生とのディス



▲緊張の中でも堂々と

カッション等を通して学んだ、現在企業が抱えている問題や今後の海外戦略の提案などが盛り込まれ、多く

の来場者の興味を引いていた。また質疑応答では大学生や経附生、そして他校の教諭など様々な人々から質問が飛び、発表者たちはそれ的確に答えていた。

発表終了後、高大連携顧

ており、来場者はそのわかりやすい発表に魅了されていた。

富岡町について発表した狩野祥希くん(3年)に成果発表会を終えての感想を聞くと「前日まで準備で忙しかつたのですが、良い発表ができました。また、このような活動を通して、人前で話すことの大変さや楽しさを学びました」と答え

(本多)

### 二年文オナ

## 3月最終発表へ確かな一歩 本校のSGH事業を具に

9月19日(土)、群馬音楽センターでSGH等合同成果発表会中間発表が開催され、県内11校の高校生が研究の成果や事業への取組を発表した。本校からは2年文系オナークラスの代表者が参加した。



▲他校の生徒の前で発表する

成果発表会は平成14年度から開催されている行事で、SGH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)、SGHスーパー・グローバル・ハイスクール)等の事業に参加して

いる県内高校の生徒が、研究成果や事業への取組を中間発表・最終発表の年2回、ステージ発表やポスターセッションで発表する。本年度は全国総合文化祭や科学の甲子園に出場した高校も参加した。

各校の研究は多岐にわた

(長澤)

## 生徒と教師の架け橋に お悩み解決! ネットワーク週間

9月7日(月)から11日(金)にかけて、本校でネットワーク週間運動が行われた。

ネットワーク週間とは、普段相談しにくい悩みを持つている生徒が本校の先生一人を指名し、その先生にマンツーマンで相談に乗ってもらえる期間だ。この試みは普段関わりが多くない



▲ピロティで一对一の対話

先生も指名できることから、生徒と先生間の重要な架け

橋となつている。会話の内容は様々で、進路や友人関係のことから好きな漫画の話まで多岐にわたつていたとのことだった。

(千葉)